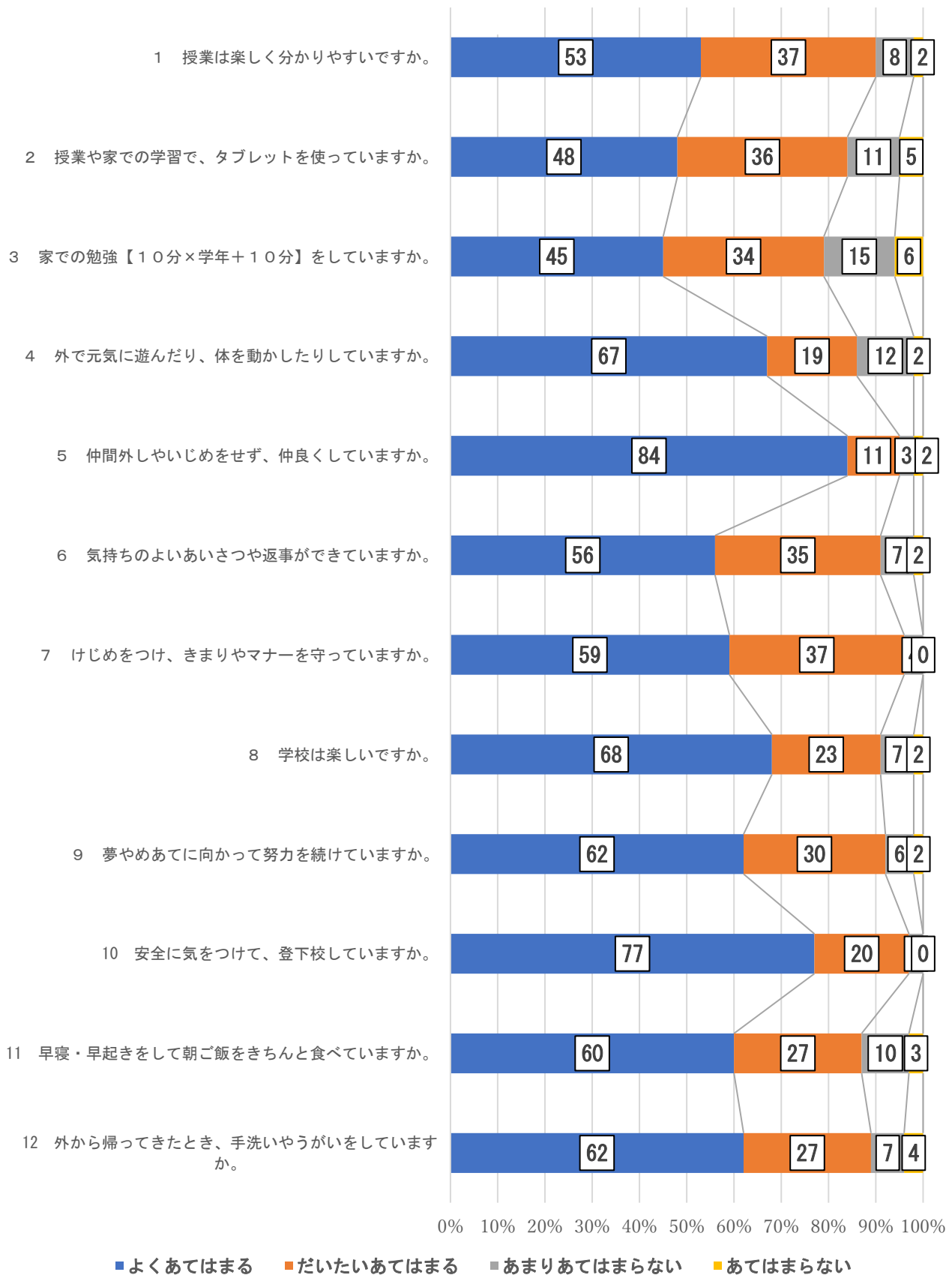
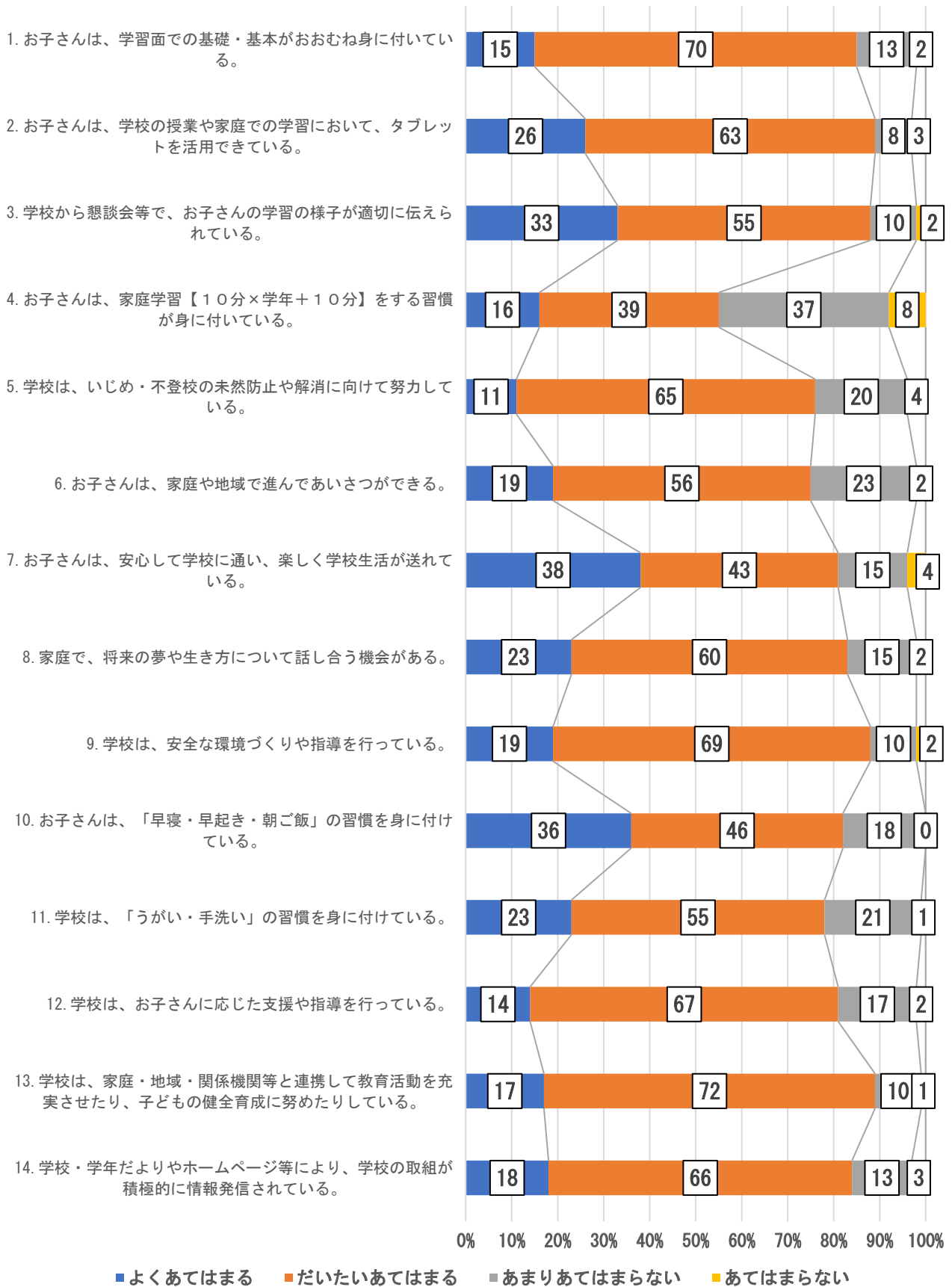


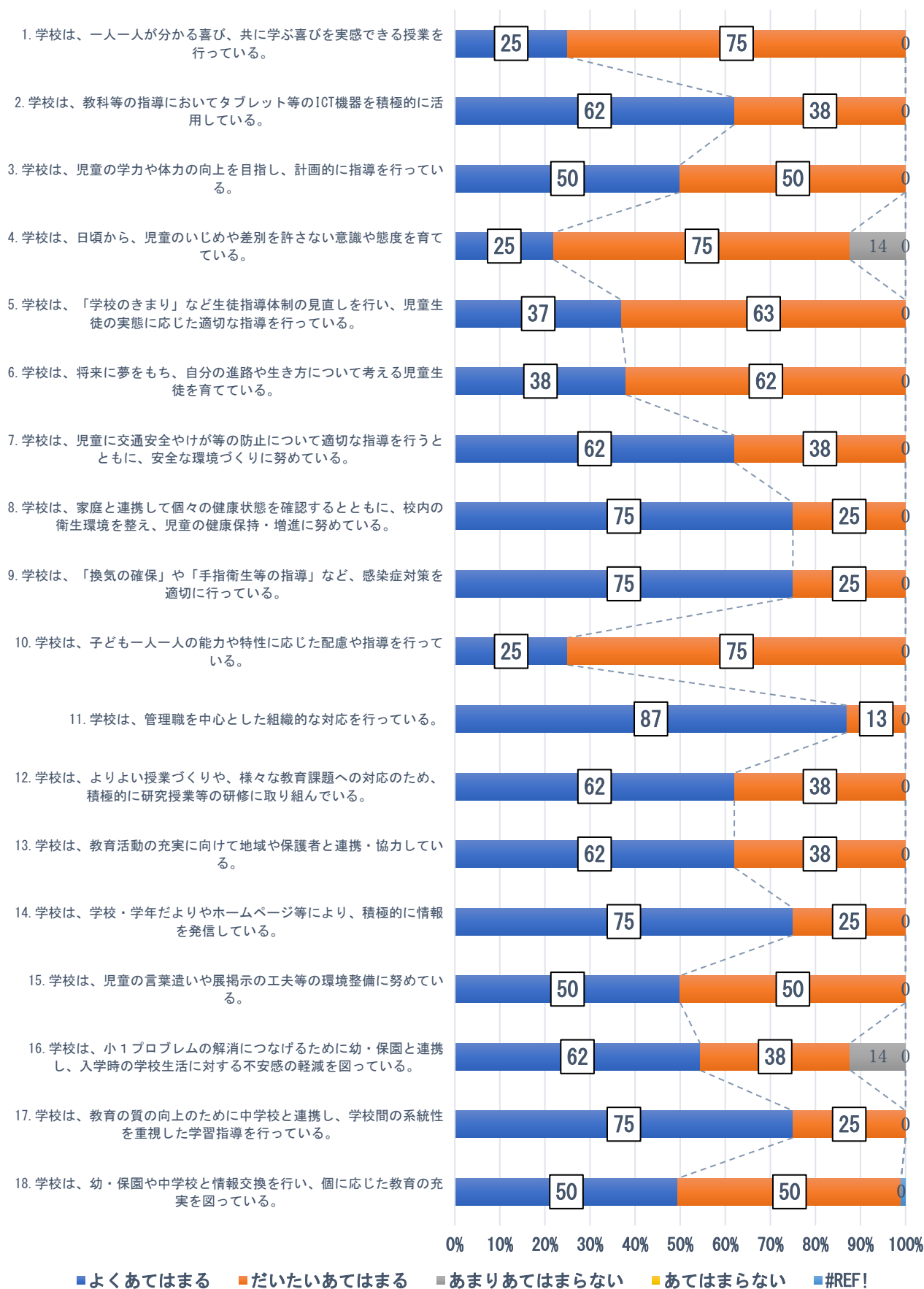
児童集計（235名回答）



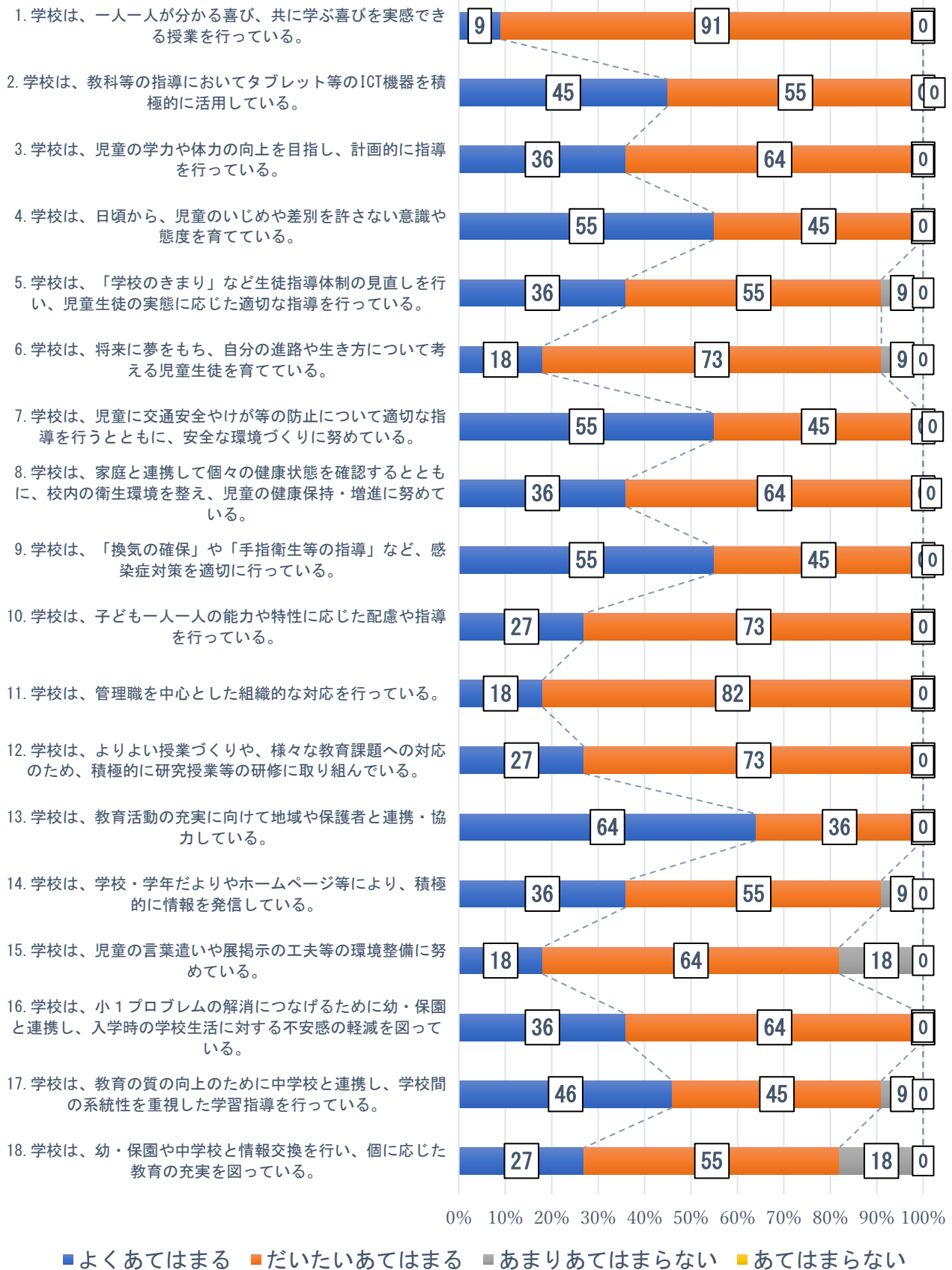
保護者集計結果（163名回答）



地域回答集計結果（8名回答）



教職員集計結果（11名回答）



＜児童の声＞

- 算数、国語、音楽、体育、図工を頑張ります。
- 登校のとき班長のあるくスピードが速すぎて1年生がついていけない。

＜保護者の声＞

- 小規模なので色々なことにチャレンジできる。
- 小規模という事もあり、目の届く教育をして頂けていると思います。友人から児童数の多い学校の話も聞きますが、この学校でよかったという事も多々あります。
- 毎日、子供が楽しそうに学校に行っているのもそういう環境を作ってくれて嬉しいです。
- 何かあれば相談出来、解決、報告までしてくれる所。
- 6年生で起こった問題を校長先生が全学年の保護者に報告してくださったこと 身近な問題として子どもと一緒に考える機会ができた。
- 先生の言葉遣いがとても悪いと思う。子供から学校での話を聞いてとても言葉遣いの悪さに驚くとともに不愉快だと感じている。
- 学年によっては学習態度が悪いと聞きます。それが嫌で同じ校区の中学校に進むことが嫌になり他の校区の中学校に進む生徒もいるようです。家庭での躾も勿論重要ですが、学校生活における先生方の指導もより重要になってくると思います。中々、厳しい指導が難しくなっている昨今で苦労されるとは思いますが、より一層の指導を期待します。
- 自然災害が年々以前よりも酷くなっているので警報時の対応を検討し直して欲しいです。 現在大雨警報、洪水警報は原則登校ですが、 今の大雨は昔よりも酷く、冠水などや土砂被害も増えています。登下校中も危険が増えて来ているので、今の災害様子を参考に検討していただきたいです。
- 放課後の過ごし方について、自転車の乗り方、公園でのマナー等を全体的に指導していただきたいです。

＜地域の声＞

- PTAだけでなく、まちづくり協議会やおやじの会等の各種団体と連携して地域を巻き込んだ教育が行われている。
- もっともっと、保護者に対して学校の情報を流すべきである。

＜考察＞

- 児童の集計結果を見ると、5「仲良くしていますか」7「きまりやマナーを守る」10「安全に気をつけて登下校」の項目は、高い肯定率であった。児童にとって学校で友達と仲良く、安全に過ごせる場所であることが分かる
- 児童は、「授業は楽しく分かりやすい」と回答しているものの、「家での勉強【10分×学年+10分】をしていますか」の評価が低い。これは、保護者集計結果「お子さんは、家庭学習【10分×学年+10分】が身に付いている」、の評価が低いことにも共通している。今年度も朝の時間を活用して、「はまっこ学び方辞典」をテレビ放送でわかりやすく解説したり、高小検定の行い方を一新したりするなど、児童のやる気を促してきた。しかし、まだ十分とは言えない。とくに、学習習慣や家庭学習の定着には、家庭の協力が必要不可欠である。学校での取組を保護者に分かるように伝える方法を工夫し、保護者に関わってもらえるようにしていきたい。
- 保護者の集計結果を見ると、ほとんどの項目で、「よくあてはまる」の評価が低くなっている。その中で、8「家庭で、将来の夢や生き方について話し合う機会がある」の項目は、よくあてはまる（26→23）あてはまる（53→60）あまり（18→15）あてはまらない（3→2）と上昇が見られた。一方、「いじめ・不登校の未然防止」「挨拶」「手洗い・うがい」の否定率が上がっており、対応が求められる。
- 保護者の記述を見ていくと、少人数であること、自然が豊かなことなどを肯定的に捉えている保護者が多いことが分かる。また、教員のきめ細やかな声掛けや指導にも保護者は肯定的である。しかし、一つ一つを細かく見ていくと、指導や取り組みが不十分であると感じられるところもあり、教職員で共有したり、検討したりしていく必要がある。
- 地域の方は、すべての項目が高評価であった。学校の様子もよく理解していただいている。来年度も、参観日の案内をするなど、より高浜に来ていただく機会を設けて、地域とともに、はまっこの育成に努めていきたい。
- 教職員集計結果は、昨年度に比べると、全体的に「よくあてはまる」の評価が低くなっている。15「児童の言葉遣い」に関する項目は、「あまりあてはまらない。あてはまらない」が（8→18）と増えている。児童に対する指導が十分にできていないことがうかがえる。